

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農業振興課	■担当係	園芸畜産係
■評価事業名称	北上市認定農業者連絡協議会補助金		
■事業開始年度	平成3年度		
■評価事業コード	050200 - 033	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	04 地域産業を担う人づくりと雇用環境の向上	
	■施策	04 農林業の担い手等人材の育成支援	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	認定農業者、担い手の育成・確保。団体の育成、活動に対する補助		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	北上市認定農業者連絡協議会補助金	認定農業者	理事会開催2回 総会 市長と語る会 経営者レベルアップ研修会 簿記講習会 支援ニュース発行(4回) 北上地区懇談会参加	市長と語る会の実施 9/11 全国 経営者レベルアップ研修の実施2/17 北上地区懇談会の実施2/23 農業経営改計画研修の実施 3/11 支援ニュースの発行 5回 その他各種研修会の案内実施

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	320	323	338	341	
人件費	3,383	458	2,571	2,830	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,703	781	2,909	3,171	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	各種研修会等開催回数	7回	7回	7回	7回	複式農業簿記講習、パソコン簿記講習、農業経営者セミナー、農業フォーラム、農業委員との意見交換会、経営改善研修会、西和賀農業者との懇談会など各種の研修会に多くの認定農業者が参加した。

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

02	農業情報の提供	4回	4回	5回	5回	「支援ニュース」を2回発行したほか、ビジョンの担い手(集落営農組織、法人も含めた)に対しても農業関連情報を2回発行した。
03	新規経営改善計画の認定者数	5経営体	14経営体	25経営体	25経営体	更新者含めず(年度内再申請)

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

・昨年同様の流れで研修会、事業等を実施。□支援ニュース等において、県主催各種研修会□各種補助事業等案内しおおむね順調とした。

問題点・課題等

・参加者が固定されてきている。□どのような内容の研修をすればよいのか、事務局として考察に苦慮する

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

大きな不利益やリスクが生じる

ある程度の不利益やリスクが生じる

不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策

28年度より県の認定協理事職が当市となる。□県主催の事業等にも積極的に参加することし事務局として一層の情報収集につとめる。

■今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了